



射水市立東明小学校 学校だより



東明っ子

第 22 号

令和 4 年 3 月 22 日

卒業おめでとう！



大雪だったこの冬も、いつの間にか雪が解け、体育館には、柔らかな春の陽が差し込んでいます。3月17日



(木)、射水市 生涯学習スポーツ課 鳥本善之様、本校PTA会長 朝倉あゆみ様の2名の来賓にご臨席いただき、保護者の皆様に見守られる中、令和3年度卒業証書授与式を挙行了しました。コロナ禍の中、感染拡大予防を念頭に置き、在校生は参加せず、やむを得ず「卒業生・在校生の言葉（よびかけ）」や「来賓祝辞」、「祝電披露」などを取りやめました。少し寂しい感じもしましたが、卒業式のメインは、卒業証書授与です。担任が一人一人の呼名をし、子供たちが順に壇上に上がりました。そして、返事をした後によびかけに代えて「将来の夢」を高らかに唱えました。その立派な姿に多くの保護者の皆様は感動されたのではないのでしょうか。その後、目を見てお祝いの言葉をかけながら、子供たちに卒業証書を手渡しました。

式辞では、

「みなさんは、入学以来、多くの先生方の教えを受け、仲間や地域の方々との触れ合いを通して、「ゆたかに たくましい」子供に育ちました。中でも最高学年としてのこの一年間は、目覚ましい活躍に目を見張りました。運動会での「応援コール」の力強い動きや、学習の成果発表会での「人を信じる大切さ」の発信などいくつものすばらしい姿を見せ、下級生の手本となりました。児童会の活動においても、「あいさつ運動」や「廊下を安全に歩こう運動」など、自主的・自発的に行動を起こしてくれました。縦割り班の活動では、下級生に対して優しく温かい励ましの言葉をかけている姿をよく見かけました。(中略) みなさんが残してくれたこれらの足跡は、後輩たちに受け継がれ、東明小学校の伝統として受け継がれていくものと確信します。」

と卒業生にエールを送りました。

代表の子供4名が堂々と「門出の言葉」を言った後、卒業歌「旅たちの日に」の合唱となりました。「いま、別れのとき、飛び立とう 未来信じて～」の歌詞を聴いたとき、胸がジーンと熱くなりました。いよいよ本当に6年生43名が、東明小学校を巣立っていくのだと実感が湧きました。



卒業生が立派に退場していく姿に、一抹の寂しさを感じつつ、未来への飛躍を願わずにいられない気持ちになりました。凜とした素晴らしい卒業証書授与式でした。



PTAより記念品の贈呈式



3月15日（火）、卒業式予行の後、PTA記念品贈呈式及び、卒業記念品贈呈式を行いました。6年の子供たちが体育館で式に臨み、1年生から5年生は、教室でリモートによる配信を視聴しました。

PTA記念品贈呈式では、牧野副会長から卒業生代表に卒業証書入れ用ファイルとコサージュ、ペンのセットが贈られました。とても素敵な物でした。また、牧野副会長から、卒業生にお祝いの言葉もいただきました。

卒業記念贈呈式では、卒業生から学校に、テント一式をいただきました。来年度の行事、大会で使用させていただきます。



一年間、ありがとうございました！

3月25日（金）より、学年末休業となります。この一年間で子供たちはコロナ禍の不自由な生活を送りながら、確実に成長を遂げました。ぜひ、お子様の成長したところを具体的に見付け、たくさん褒めてあげてください。自尊心を高めることが子供の成長にとって一番大切なことです。新しい学年に向かう大きなパワーとなります。

さて、新型コロナウイルス感染症が収束しておらず、いろいろと制限のある休みとなりますが、ご家庭での子供たちの指導をよろしくお願いします。

最後になりましたが、保護者の皆様には、この一年間、学校運営に対して多大なご理解ご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

（校長 阿尾昌樹）